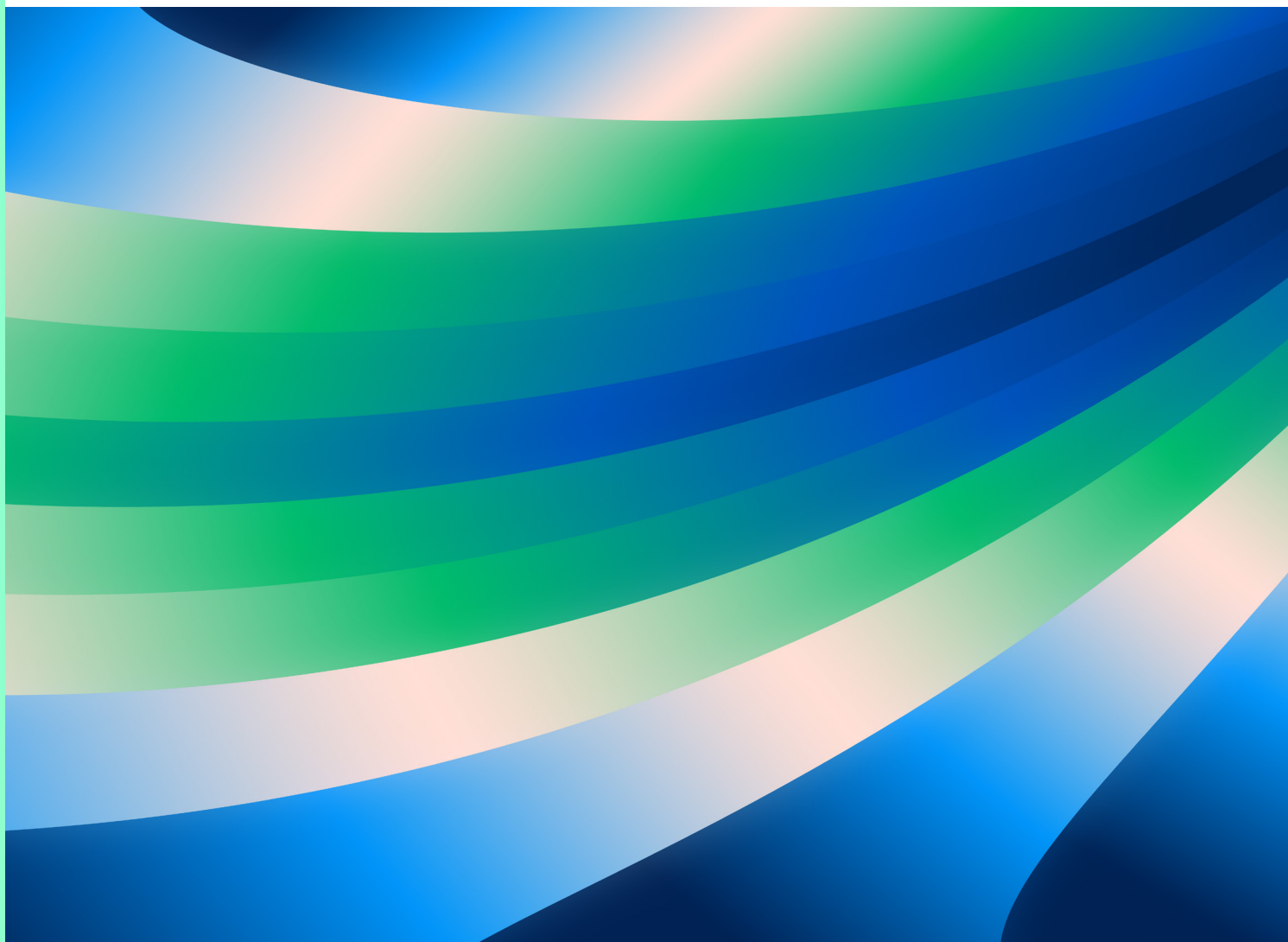




AWS FOR VMWARE

VMware のワークロードの 移行とモダナイズに 欠かせない 4 つの要点

クラウドで成功するためのガイド



自信を持って変化を受け入れ、AWS で移行とモダナイズを進める

組織は、ベンダーへの依存と長期戦略について再評価を行っています。特に VMware ワークロードの場合、かつては予測可能だったものが、今では新たな評価が必要になっています。

今重要なのは、前進にあたっての現実性のある選択肢と柔軟性です。考えてみてください。クラウドベースの移行の準備ができているワークロードはどれですか？この瞬間をビジネス変革のチャンスに変えるにはどうすればよいでしょうか？事業継続性を維持しながら加速するにはどうすればよいでしょうか？

自信を持ってこの選択を行うには、適切な基盤が必要です。AWS は、包括的な選択肢、実証済みの専門知識、グローバルなインフラストラクチャ、継続的なイノベーションを提供します。

このガイドでは、VMware に関する混乱を解消し、移行を成功へと導くための、4 つの要点について説明します。

- 自社固有のワークロードに適したパスを選択する
- 移行プログラムと専門知識を活用する
- エージェント AI で、複雑な作業の自動化とスケジュール短縮を推進する
- 専門的なトレーニングと認定を活用してチームをスキルアップさせる

これらの要点は、意思決定を適切に行い、ジャーニーを加速して、長期的な価値を最大化するのに役立ちます。

クラウドで成功するために 欠かせない 4 つの要点

クラウド移行を成功させるには、4 つの要点について慎重に検討する必要があります。これは、差し迫った変化に対応する場合でも、戦略的な変革を進める場合でも、その両方の優先事項のバランスを取る場合でも当てはまります。これらの要点は、自信を持って意思決定を行い、適切に遂行するためのフレームワークとなります。

1

ワークロードに適した移行パスを選択する

考慮すべき主な質問：

- 組織にはどのようなニーズがあり、VMware ワークロードにはどのような移行オプションを利用できるか？
- クラウド移行プロジェクトに重要な期限やタイムラインがあるか？
- 選択したパスでは、優先順位に基づいて、スピード、コスト、事業継続性のバランスを取ることができるか？

[詳細を読む](#)

3

エージェント AI と移行ツールで加速する

考慮すべき主な質問：

- 移行プロセスを合理化、加速するツールと自動化ソリューションにはどのようなものがあるか？
- エージェント AI はどのように移行プロジェクトの複雑さを軽減し、スケジュールを短縮するか？
- 既存のシステムとクラウド環境間の互換性を確保し、統合する機能にはどのようなものがあるか？

[詳細を読む](#)

2

移行プログラムと専門知識を活用する

考慮すべき主な質問：

- 移行のリスクを軽減するために、どのような移行リソース、評価、ファンドプログラムを利用できるか？
- 成功に向けて、移行に関する実証済みの専門知識やパートナーを利用できるか？
- 移行を加速するために、予算上の障壁を解消するにはどうすればよいのか？

[詳細を読む](#)

4

トレーニングと認定を活用してチームをスキルアップさせる

考慮すべき主な質問：

- IT 部門は、クラウドインフラストラクチャを効果的に管理、最適化するために必要なスキルを有しているか？
- 組織内のスキルギャップを埋めるトレーニングプログラムにはどのようなものがあるか？
- クラウドにおける成功に向けて vSphere 管理者をどのように準備させればよいのか？

[詳細を読む](#)

ワークロードに適したパスを選択する

クラウドへの移行は、単なるインフラストラクチャの話ではありません。コスト削減、モダナイズの加速、AI 機能の活用を可能にする基盤を構築することです。AWS は、これを実現するための選択肢と柔軟性を提供しています。

AWS が提供する、VMware ベースのワークロードのパス

AWS は、目的別のサービス、グローバルなインフラストラクチャ、実証済みの移行の専門知識を提供して、お客様が VMware ワークロードを自信を持ってクラウドに移行できるよう支援します。

お客様は、レジリエンスと高可用性を実現するクラウドネイティブサービスとグローバルインフラストラクチャを利用でき、充実したパートナーネットワークの支援を受けることができます。特に重要なのは、クラウドが AI 機能の基盤を提供することです。オンプレミスで AI 機能を構築するのは困難で、多額のコストがかかります。

適切なパスを選択することで、これらすべてが可能になります。AWS には、ビジネスの優先事項、スケジュール、ワークロード要件に合わせてアプローチを選択できる柔軟性があります。

移行とモダナイズのパス

AWS ネイティブサービスに移行してモダナイズ



AMAZON EC2



AMAZON ECS
または EKS



AMAZON RDS、
WORKSPACES、
FSX など



モダンアプリ
ケーション

VMWARE をクラウド
で実行



AMAZON EVS

AWS をオンプレミス
で実行



AWS OUTPOSTS

代替の仮想化ソリューションに移行

NUTANIX

Red Hat

NUTANIX CLOUD
CLUSTERS ON AWS
(NC2 ON AWS)

RED HAT
OPENSIFT ON
AWS (ROSA)

AWS のコアサービスに移行してモダナイズする

ライセンスコストをなくし、クラウドの機能を最大限に活用したいと考えている組織のために、AWS は以下のような包括的なパスを提供しています。

Amazon EC2 への VM のリホスト

VMware 仮想マシン (VM) を [Amazon Elastic Compute Cloud](#) (Amazon EC2) に移行し、クラウドジャーニーを開始します。アプリケーションへの変更を最小限に抑えながら、インフラストラクチャのコストを削減し、効率的にスケールし、AWS のパフォーマンスとレジリエンスを活用できます。

コンテナサービスへのリプラットフォーム

VMware の移行を基盤に、AWS のマネージドコンテナサービスである [Amazon ECS](#)、[Amazon EKS](#)、[AWS Fargate](#) を採用することで、差別化を生まない面倒な作業からチームを解放できます。コードを書き直すことなく、デプロイのモダナイズと標準化、運用の自動化、アプリケーションのスケールを行うことができます。

マネージド型のデータベースとストレージへのリプラットフォーム

[Amazon Relational Database Service](#) (Amazon RDS) にリプラットフォームすると、自動バックアップ、パッチ適用、高可用性を実現しながら、データベース管理のオーバーヘッドをなくすことができます。また、[Amazon FSx](#) に移行して、エンタープライズ向けの機能とパフォーマンスを備えたフルマネージド型のファイルストレージを利用することもできます。

仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) のリプラットフォーム

[Amazon WorkSpaces](#) は、AWS データセンター移行の一環として、お客様の VDI をモダナイズします。フルマネージド型の Desktop-as-a-Service で高価なライセンスの利用をやめることも、既存の VDI ライセンスを引き続き利用して、Microsoft 365 のライセンスのコンプライアンスを確保しながらワークフローと運用の継続性を維持することもできます。

サーバーレスへのリファクタリング

さらなる進化の準備ができている VMware ベースのワークロードの場合、[AWS Lambda](#) を利用することで、インフラストラクチャ管理が不要で、クラウドネイティブな AI 対応基盤を構築するイベント駆動型のサーバーレスアーキテクチャが実現します。

主なメリット

ベンダーロックインからの脱却

高額なオンプレミスハードウェアとライセンス料が不要になります。

AWS の 240 以上のサービスを利用可能

AI、機械学習、分析、継続的なイノベーションを初期から利用できます。

エージェンティック AI とエキスパートサービスで移行を加速

エージェンティック AI と目的別サービスを利用して、移行を加速できます。

自信を持ってスケール

AWS のグローバルな展開と 99.99% の可用性 SLA に支えられた、伸縮自在なインフラストラクチャ。

VMware スタックを維持してクラウドで実行する

ワークロードを Amazon EVS に再配置する

[Amazon Elastic VMware Service](#) (Amazon EVS) は、VMware ワークロードを AWS で実行する最速の方法です。使い慣れた VMware Cloud Foundation (VCF) ソフトウェアとツールで、AWS のスケール、レジリエンス、パフォーマンスが得られます。VMware 環境を AWS に拡張、拡大して、高い柔軟性とコントロールを確保できます。

人材、時間、コストの面での目標に合わせて、運用管理を自身で行うか、パートナーにまかせるかを選択します。

クラウドのメリットをすぐに享受したいが VMware ワークロードを維持したい場合は、Amazon EVS が最速の方法です。

主なメリット

VMware を AWS で実行

VCF を他の AWS アプリケーションと一緒に、[Amazon Virtual Private Cloud](#) (VPC) に直接デプロイします。

クラウド内で仮想化スタックをコントロール

オンプレミスネットワークを拡張してワークロードを移行できます。IP アドレスの変更、スタッフの再トレーニング、オペレーションランブックの書き直しは不要です。

運用管理を自身で行うか、マネージド型で AWS パートナーを活用

AWS 上の VCF 環境の運用管理を自身で行うか、[AWS パートナー](#)の専門能力を活用するかを選択できます。

AWS のサービスを自社のベースで導入

ビジネスニーズの変化に合わせて、AWS の 240 以上のサービスと統合できます。

自社固有の要件に 合ったパス

AWS は、組織によっては別のアプローチを必要とする独自の要件があることを認識しています。

AWS をオンプレミスで実行する

[AWS Outposts](#) を利用すると、AWS のサービスをオンプレミスで実行でき、データレジデンシーやレイテンシーの要件を満たすことができます。オンプレミス環境とクラウド環境にわたり一貫した運用を実現でき、両環境間のシームレスな統合とワークロードの移植が可能です。

代替の仮想化ソリューションを活用する

AWS は仮想化ソリューションプロバイダーと協力して、仮想化環境での運用を支援します。AWS での実行のメリットも得られます。[Nutanix Cloud Clusters on AWS](#) (NC2 on AWS) は、運用の中断なしにハイブリッドクラウドとディザスタリカバリを実現します。IP アドレスは維持されます。アプリケーションのリファクタリングのリスクが解消されます。

[Red Hat OpenShift Service on AWS](#) (ROSA) は、クラウドにおけるフルマネージド型の Red Hat OpenShift 統合です。このサービスは、使い慣れたツールとエンタープライズサポートを必要とする既存の Red Hat のお客様に最適です。

主なメリット

データレジデンシーのニーズに対応

データレジデンシーと低レイテンシーのパフォーマンスを確保しながら、VMware ワークロードを実行し AWS の機能を利用できます。

異なる環境間で一貫して運用

オンプレミスとクラウドで、同じ AWS ツール、API、サービスを使用できます。シームレスに統合し、両環境間でワークロードを移動できます。

主なメリット

代替の仮想化を活用

ビジネスに適したソリューションに移行できます。

業務の中断を最小限に抑制

同様のデプロイパターンと運用モデルを維持できます。

AWS の機能を最大限に活用

現在のスキルセットを最大限に活用しながら、クラウドのメリットを享受できます。

移行プログラムと専門知識を活用する

AWS が提供するすべてのプログラム、ツール、フレームワークには、20 年にわたり数十万の企業の移行を支援してきた経験が活かされています。そのため、お客様はあらゆる段階で適切なサポートを受けながら、より迅速に、より少ないリスクで移行できます。

評価から始める

[Optimization and Licensing Assessment \(OLA\)](#)

移行する前に、現在何をどう使用しているかを正確に把握しましょう。AWS OLA は、オンプレミス環境とクラウド環境の評価と最適化、必要なインスタンスの削減、リソース効率の向上に役立つ、全体像を確認できる無料の評価です。

- ・ **ライセンスと依存関係の分析**：移行前に環境全体を把握
- ・ **コスト最適化の推奨事項**：移行後ではなく移行前にコストを削減
- ・ **移行パスのガイダンス**：戦略とスケジュールに合ったアプローチを特定



ファンドプログラム

[AWS Migration Acceleration Program \(MAP\)](#)

MAP は、金銭的インセンティブ、体系的な方法論、実践的なサポートを組み合わせ、移行にかかる時間、コスト、リスクを軽減する、包括的で実績のあるクラウド移行プログラムです。

- **成果重視の方法論**：何千もの企業の移行を支援してきた AWS の経験を反映
- **金銭的インセンティブ**：ファンド支援を得て移行コストを軽減
- **リスクの軽減**：実証済みのフレームワークで実行リスクを最小化
- **価値創出の迅速化**：非常に複雑な移行でも迅速に行えるように構築

[AWS VMware Migration Accelerator \(VMA\)](#)

VMware Cloud on AWS ワークロードを Amazon EC2 に移行する場合は、移行コストを削減し、移行の迅速化に役立つクレジットを VMA が提供します。

- 移行の初期費用を削減
- プロジェクトのスケジュールを短縮

お客様の移行とモダナイズが、追加のプログラムの対象となる場合があります。
利用可能なオファーにつきましては、AWS の担当者にお問い合わせください。

エキスパートによるガイダンスとサポート

[AWS プロフェッショナルサービス](#)

AWS プロフェッショナルサービスは、AI を活用したサービス提供、特化型のソリューション、業界に関する深い専門知識を組み合わせ、AWS での VMware ワークロードの設計、構築、移行、管理を支援します。
実証済みのフレームワークと VMware の専門技術を活用して、スケジュールの短縮、リスクの軽減、価値創出の迅速化を実現できます。

- **VMware 移行戦略と計画**：お客様固有のニーズに合わせたアプローチ
- **実践的な実装サポート**：実装のあらゆる段階でエキスパートのガイダンスを利用
- **知識の伝達**：長期的な成功に向けた社内の能力開発

[AWS 移行コンピテンシーパートナー](#)

移行とモダナイズの専門知識を持つ AWS パートナーで、さまざまな業界、ワークロードタイプ、複雑さのレベルに対応します。

- **460 以上の移行コンピテンシーパートナー**：さまざまな業界やユースケースにわたる実証済みの専門知識
- **VMware に関する専門的能力**：VMware システムと AWS 移行戦略に関する豊富な経験

エージェント AI と移行ツールで加速する

適切なツール選択で、すべてが加速します。エージェント AI と目的別の移行ツールを利用すれば、あらゆる段階でプロセスの複雑さを解消し、スケジュールを短縮できます。

AWS Transform の紹介：企業をモダナイズするためのエージェント AI

[AWS Transform](#) は、Windows、メインフレーム、VMware などのトランスフォーメーションを加速する初のエージェント AI です。技術的負債を軽減し、技術スタックを AI 対応にします。

AWS は、この画期的なテクノロジーを VMware の移行で利用できるようにしています。[AWS Transform for VMware](#) は、VMware ワークロードのクラウド移行を加速するように特別に設計されています。20 年にわたる移行経験に基づいており、検出、計画、ネットワークと VM の移行を自動化し、移行スケジュールを効果的に短縮します。



AWS Transform for VMware の機能

自動検出と自動依存関係マッピング

AWS Transform for VMware の移行エージェントは、自動的に VMware 環境を検出し、ワークロード、依存関係、ネットワーク構成をマッピングするため、手動では何週間もかかるようなインベントリ作業が不要になります。

インテリジェントな移行計画

エージェントは会話型ワークフローを通じて環境を分析し、お客様のビジネス目標とアプリケーションの依存関係に合わせて最適化された移行ウェーブを生成します。

自動ネットワーク変換

AWS Transform は、オンプレミスの VMware ネットワーキングを、迅速にクラウドベースの AWS インフラストラクチャに自動的に変換します。また、AWS のベストプラクティスに沿って、すぐにデプロイできる Infrastructure-as-Code (IaC) も生成します。

シンプルなサーバーリホスト

AWS Transform は、互換性と最適化を処理しながら、仮想マシンを EC2 に変換します。レプリケーション、テスト、カットオーバーが自動化され、手動によるエラーがなくなります。

リアルタイムのコラボレーション

統合ワークスペースにより、移行チームは移行エージェントのガイドを受けてリアルタイムの共同作業ができます。計画の変更、変更への適応、適合性の維持が可能です。

主なメリット

コストの削減

- VMware のライセンス料を排除
- AI を活用した適切なサイジングにより、インフラストラクチャコストを最適化

移行の迅速化

- ネットワーク変換の所要時間を最大 80 分の 1 に短縮
- アプリケーションの整合性を維持し、カットオーバーを迅速化

セキュリティの向上

- クラウドベースの基盤でセキュリティを強化
- 人間の検証により移行の安全性を確保

大規模なイノベーション

- 技術的負債を減らし、スケーラブルなアプリケーションを構築
- AWS の 240 以上のサービスと統合

オンプレミス

AWS TRANSFORM

クラウド



検出評価



移行の計画



ネットワークの
変換と移行



VM の移行と
デプロイ

トレーニングと認定を活用して チームをスキルアップさせる

クラウド導入の障壁の 1 つはテクノロジーではなく、スキルです。多くの IT 部門は、インフラストラクチャとオンプレミスに関する深い専門知識を持っています。クラウド移行では、既に持っている知識に基づいて構築を行うことができます。AWS トレーニングと認定は、既存の専門知識をクラウドで活用できるようにします。

AWS トレーニングと認定のサービス

[AWS トレーニングと認定](#)では、組織でも個人でも、実践的なクラウドスキルを獲得するためのツールを利用できます。スキルは、業界から認められた資格で証明されます。短いオンライン動画から、インストラクターが対面で教えるクラスルームトレーニングまで、あらゆるチームに適した形式があります。



デジタルトレーニング
AWS SKILL BUILDER



インストラクター主導の
クラスルームトレーニング



AWS 認定



AWS 教育プログラム

VMware 管理者向けにカスタマイズされた学習

[AWS for VMware 管理者向けラーニングプラン](#)

VMware 管理者向けに作成されたこのラーニングプランでは、インタラクティブなコースやハンズオンラボを通じて、クラウドの基礎、セキュリティ、コスト管理について学び、既存の専門知識と AWS で成功するために必要な知識との間のギャップを埋めます。特定のサービスについて詳しく学びたい場合は、さらに [Getting Started with AWS Transform](#) や [Amazon EVS Fundamentals](#) のような AWS Skill Builder のコースを受講してください。

[AWS Migration Essentials クラスルームトレーニング](#)

AWS のツールとサービスを使用して行う、検出、計画、実施、追跡の移行ライフサイクル全体をカバーする 1 日の基礎コースです。移行プロジェクトが実際に動き出す前に、迅速に知識を習得する必要があるチームにとって、最適な出発点です。

要点を知ることによって適切なパスを切り開くことが可能

クラウドに移行して、モダナイズのための成功基盤を構築することは、単一のパターンに当てはまるものではありません。お客様のニーズは、組織のビジネス目標とテクノロジーのニーズによって決まります。情報に基づいた選択を行うということは、今、要点に取り組むことを意味します。

ジャーニーは、今始まる

AWS は 20 年にわたり、何千もの組織の VMware ワークロードの移行とモダナイズを支援してきました。包括的な移行サービス、実証済みの専門知識、継続的なイノベーションにより、お客様が混乱を乗り越えチャンスを手にとることができるお手伝いをします。

クラウドはインフラストラクチャに限ったものではなく、トランスフォーメーションに関わるものです。適切なパス、リソース、ツール、スキルがあれば、ベンダーロックインを排除し、コストを削減し、イノベーションを推進する 240 以上の AWS サービスを活用できるようになります。

始める準備はできていますか？ AWS の担当者にお問い合わせいただければ、移行戦略について話し合い、組織で利用できるプログラムとリソースについて知ることができます。

詳細はこちら →



今すぐ始めましょう

[こちら](#)から [Optimization and Licensing Assessment](#) を無料でリクエストできます。

その他のリソース：

- [AWS for VMware に関する詳細](#)
- [AWS の移行リソース](#)

© 2026, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

